

令和3年9月16日

## 臨床研究に関する公開情報

京都市立病院薬剤科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究の計画書・研究方法についての資料や患者さん自身の情報についてお知りになりたい場合、この研究に患者さん自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の連絡先へ照会ください。なお、この研究に参加している他の患者さんの個人情報や研究の知的財産等はお答えできない内容もございます。ご了承ください。

### 1. 研究課題名

当院におけるポリファーマシー(多剤併用)解消への取り組み状況

### 2. 研究責任者

村岡淳二

### 3. 研究の背景

ポリファーマシーとは単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下などの問題に繋がるものをいいます。

「薬剤総合評価調整加算」は、ポリファーマシーの解消を促すため、入院患者さんへのポリファーマシーに対する取り組みを評価する制度です。2020年度診療報酬改定においてこの制度が見直され、「薬剤総合評価調整加算」と「薬剤調整加算」の段階的な報酬体系となりました。これに伴い、当院薬剤科で診療報酬改訂研修会を行いました。

### 4. 研究の目的

2020年度の薬剤総合評価調整加算の改定をうけて、当院での算定状況の変化、また当院薬剤師の意識変化を調査しました。

### 5. 研究の対象者

2020年2月から2021年1月までに、薬剤師がポリファーマシー解消のため介入し、算定した当院の入院患者さん

利用する情報は、患者さんの年齢、算定年月日、算定件数、介入した薬剤師・診療科、薬剤の情報(薬品名、用法、用量、処方した診療科)を予定しています。

本研究は観察研究であり、患者さんへ直接的な介入や侵襲、費用負担はありません。

## 6. 資料の管理

患者さんのデータは研究担当者が責任をもって匿名化しますので、他者にはその情報が誰のものかわかりません。個人情報の保護には十分に注意を払います。

研究へのデータ提供や研究への参加・不参加による利益・不利益もありません。

今回、集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、随時下記問い合わせ先までご連絡ください。なお、すでに研究成果が公表されていた場合は、結果を取りやめることができない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

## 7. 研究機関情報

研究機関名:京都市立病院

院長:黒田啓史

## 8. 問い合わせ先

研究担当者 京都市立病院 薬剤科 原田若奈

電話 075-311-5311